

大阪大学経営協議会（平成22年度 第4回）議事要旨

日 時 平成23年3月18日（金）14時00分～15時35分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 鷲田総長（議長）

猪木、大竹、河田、川名、近藤、城野、中村、野村、堀場、山西、西田、小泉、西尾、土井、門田、尾山、高杉、辻、中尾、馬場(章)、平野、岸本、福澤
各委員

欠席者 小林、角、馬場(明)、森 各委員

議事に先立ち、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された方へのお見舞いに続き、本学における対応状況等の報告があった。

続いて、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があり、前回（12月6日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

【議事】

1 平成23年度大阪大学年度計画（案）について

本学の平成23年度計画案について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

2 平成23年度収入支出予算（案）等について

本学の予算編成方針に基づいて作成した、平成23年度の収入支出予算案及び予算配分基本方針案について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

3 平成22年度予算補正（第3次）(案)について

第2次予算補正以降の収入見込額の増減額を支出予算に反映させるための平成22年度予算補正（第3次）案について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

4 役員退職手当細則の一部改正について

退職金相当額として措置される運営費交付金の積算の基礎となる在職期間を通算することができる機関が追加されたことに伴い、役員退職手当細則を一部改正することについて、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

5 教職員の給与等について

基本給の調整額の支給対象となる範囲を増やすことに伴う給与規程の一部改正及び組織の改編に伴う給与関係規程の一部改正について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

6 平成 22 年度大学基盤推進経費配分実績について

大学基盤推進経費の平成 22 年度配分実績について、配付資料に基づき報告があった。

7 平成 23 年度概算要求事項について

平成 23 年度予算の状況について説明があり、本学が概算要求で認められた事項及びそれに基づく収入・支出概算要求書について、配付資料に基づき報告があった。

8 第 1 期中期目標期間の業務実績に関する評価結果（案）について

国立大学法人評価委員会が行った第 1 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について、配付資料に基づき報告があり、今後、同評価委員会の総会において評価が確定することとなる旨の説明があった。

9 総長補佐の指名について

平成 23 年 3 月末で任期満了となる総長補佐 5 名の後任を指名したことについて、配付資料に基づき報告があった。

【意見交換】

本学における教育研究、社会貢献活動及び運営にわたる全般について意見交換を行い、学外委員全員から、以下のような意見があった。

- ・ 各キャンパスの建物やキャンパスそのものが中期目標、長期ビジョンに沿って整備されることを期待している。
- ・ 留学することは大切であり、学生には海外に目を向けてほしい。また、最近は応用に引っ張られる傾向にあるが、大学では基礎を疎かにせず大事にしてほしい。
- ・ 教育、研究に力を入れて大学のレベルを上げることと、経営の改善、効率化ということとは、教員が役割分担をしなければ忙しすぎて両方が中途半端になるのではないか。
- ・ 今の若者は決して元気がないわけではない。日本の将来のリーダーを養成することがこれからの大学の重要な使命であり、それが学生のモチベーションにもつながるのではないか。また、経営協議会の学内委員に女性がいないことなど、もっと多様性のある大学を目指してほしい。
- ・ 予算が厳しい状況下にあっても、今光が当たっている分野は研究費を獲得して活性化できるが、そうではない基礎的な分野にも総合大学として力を入れるよう配慮を続けてほ

しい。

- ・ 次代の若者を育てる場所である大学が、もっと自由闊達な、希望を持った場所となるよう国に働きかけるために、企業にできることがあれば是非協力したい。
- ・ 地域に出てせっかくいい活動をして、研究費の不正の問題などが出てくると国民の目は非常に厳しい。収増額が見込めない中で、大学は税金を使う立場であることを認識し、危機管理をきちんと行っていただく必要がある。
- ・ 国家公務員やジャーナリズムにもっと卒業生を多く輩出できるよう、重点的に養成するなど戦略を立てる必要がある。
- ・ 大阪を活性化させるために、大学の先生の様々な分野の多様な専門知識を活かして、地域のイベントや会議、意見交換の場を使って大学側から積極的に発信してほしい。
- ・ 学問分野と同様、管理部門においても、これからの大学は一律的に管理するのではなく、分野別の違いを大事にしてほしい。また、長期的な施策の決定には財政的な力が必要となるので、長期的視野に立って総長の裁量権を発揮していただきたい。

【その他】

1 平成 23 年度の経営協議会開催日程について

先に各委員へ日程の照会を行った結果を受けて、配付資料のとおり平成 23 年度の年間開催日を設定することについて提案があり、異議なく了承された。これにより、次回は平成 23 年 6 月 15 日に開催することとした。

2 経営協議会委員の交替について

3 月 31 日をもって経営協議会委員を退任する平野委員及び岸本委員の 2 名の学内委員の後任として、米田医学系研究科長及び中田接合科学研究所長を指名した旨の報告があった。

(以 上)